

県立病院事業評価委員会からの評価・提言事項

平成 25 年 8 月 26 日
県立病院事業評価委員会

総括的評価

平成 24 年度決算見込みについては、昨年度決算からさらに赤字が縮小しており、経営改善の努力が見られる。

退職給与引当金 2 億円の増額を考慮すると黒字となるので、よい方向に進んでいると思われる。

個別の提言等

1 病床利用率

D P C の効果的な運用の結果、入院患者数が減少し、宮崎病院の病床利用率が 72.3% となり 70% に近づいている。病床利用率向上のため、病床の効率的な活用が必要である。

2 看護師数

7 対 1 看護、高度医療、救急医療などを行う宮崎病院の看護師は大変苦勞しているのではないかと。現在の看護師数がぎりぎりである場合は、余裕のある配置をお願いしたい。

3 耐震基準

宮崎病院の既存の建物が、新耐震基準 1.5 倍を満たしていないのであれば、大きな地震が来たときに、精密機械の損傷の恐れがある。整備案にある新しい建物だけでなく、既存建物にもこの基準は必要であると思われる。